

◆前期後半を迎えての全校集会より◆

約四十日間の夏休みが明け、8月28日（木）、本校では「前期後半を迎えるにあたっての全校集会」を行いました。

私は全校生徒に対して、次のような話をしました。



夏休みが終わり、いよいよ今日から前期後半がスタートします。

皆さんはこの夏、どのように過ごしましたか？

勉強に励んだ人、部活動で汗を流した人、自分の趣味に打ち込んだ人、あるいは普段できないことにチャレンジした人…。それぞれにとって、きっと有意義な時間になったことと思います。

さて、前期後半は期間としては短いですが、学校生活において非常に重要な時期です。学年ごとにさまざまな行事や活動が控えています。

- ・1年生は、「自然体験学習」
- ・2年生は、「職場体験学習」や「修学旅行」の準備
- ・3年生は、いよいよ「進路決定」に向けた最終段階へ

また、全学年共通の取組として、「CS あいさつ運動」をはじめ、「文化発表会」「合唱コンクール」、そして「生徒会役員改選選挙」などが予定されています。これらの行事を通じて、皆さんが良好な人間関係を築き、社会性を高め、自ら課題を見つけて解決する力を育んでいくことを期待しています。

日々の学校生活においても、各学年にはそれぞれ目指すべき姿があります。

- ・1年生は、学校生活にさらに慣れ、中学生としての土台をしっかりと築いてください。
- ・2年生は、学校の中心として、リーダーシップを発揮し、よき手本となることが求められます。
- ・3年生は、自分の進路に向けて学習や心の準備、健康管理にも取り組み、心身のバランスを大切にしてください。

そして、全校生徒に共通してお願いしたいのが、「チームひが中 四つの約束」のさらなる実践です。今年度の初めから取り組んできたこの「四つの約束」（①時間厳守、②自問清掃、③語先後礼、④自己表現）を、日々の生活の中で意識し、行動に移してほしいと思います。

そのために、今日は一つのことわざを紹介しました。

「点滴穿石（てんてきせんせき）」

これは「小さな水滴でも、同じ場所に落ち続ければ硬い石に穴をあける」という意味です。つまり、小さな努力でも、継続することで大きな成果につながるという教えです。

「四つの約束」の日々の実践も、この「点滴穿石」と同じです。小さな努力の積み重ねが、皆さんの大きな成長へとつながっていきます。

今日からまた、新たな気持ちで一歩ずつ、着実に前進していきましょう。



生徒たちは、残暑を吹き飛ばすかのような元気な姿で前期後半をスタートさせました。今期も「チームひが中 四つの約束」をしっかりと実践し、一回りも二回りも成長してくれるものと確信しています。

今後とも、ご家庭や地域の皆様には、生徒たちの頑張りへの温かいご支援・ご声援を、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年8月29日

志免東中学校 校長 吉崎加津美

